

7月29日、折尾駅前で「折尾千灯明」がありました。堀川沿いや、先日、取り壊された3連赤煉瓦アーチ高架橋跡に、紙袋にローソクを入れて作られた燈明がとも灯され、幻想的な雰囲気をかもし出していました。今回は、赤煉瓦アーチ高架橋跡に作られた「赤煉瓦のアーチの支柱」をデザインした柱型の電灯の間に、大型スクリーンを設置して、昔の折尾の街やSL映像などが投影され、とても懐かしかったです。

また、今、残っている3連の赤煉瓦高架橋と、それに絡まるツタが「ライトアップ」され、お昼とは、全く違うイメージの美しい光景になっていました。

これからできる街も、このようにおしゃれな雰囲気になればといいなと思いました。

7月30日、折尾夏越祭が、折尾西公園で開催された。私にとっての庄巻は、何とんでも終幕の餅まき（餅拾い）である。私の餅拾いのコツは、一瞬、投げてくる餅の方向を見定めて、まず、空中戦で取り、後はひたすら下を見て拾うこと！一番の戦いの相手は、子どもである。飛び跳ねて空中で、見事にキャッチする。今年は、知人から成果を期待されていたので、俄然奮闘した。

今年の目標は、15個だったが、12個と少し悪かった。それから、気のせいかもしれないが、毎年、餅が小さくなっているように思う。願わくば、来年は、数量を増やしてほしい。そして、また、餅拾いに奮闘したい。

歴史遺産「北九州市レトロ」を創る会

毎週、水曜日に実施していた折尾駅周辺の「HAPPY ゴミひろい」ですが、お弁当の食べ残りや牛乳などの飲み物の腐敗や臭いが酷く、ゴミ収集日の前日の、日曜日に変更しました。

時間は、白石書店の閉店が19時なので、17時半から18時半までになりました。

毎回、ゴミ袋2~3袋あります。特に、タバコのポイ捨てが多いようで、溝蓋などの隙間から溝の中に捨てられています。時には、消えているようで消えていない吸い殻で、ビニール袋に穴が開くこともあります。食べかすなどの大きなゴミは、草むらや中央分離帯、歩道橋に捨てられ、ここでたむろをしていたらと想像できる状態で残っていることもあります。

最近のガムは、歩道にあまりくっつかないようにしていますが、この暑さで、固まらず、なが〜い糸を引き、なおかつ、お掃除ばさみにくっついて離れないこともあり困りました。

「ゴミ箱を設置」すれば、生ゴミや家庭ゴミなどを捨てられたりと、最終的には、モラルの問題になるのですが、一向に、吸い殻やゴミは減らないようです。

ここ最近、折尾駅周辺の草が刈り取られ、ゴミ拾いがしやすくなりました。

私たちの他にも、多くの方が清掃活動をされています。このように、折尾駅や街を愛する人がいて嬉しいです。もっときれいにして、ゴミを捨てづらくしたいと思います。

日曜の夕方、時間がありましたら、一緒にゴミ拾いをして、HAPPYな気持ちになりませんか？ ゴミ拾いの道具は、白石書店の前に用意しています。

連絡先：090-2710-6810 (マク)